

【地域の概要】

- 各務原市は中央南端に位置し、東西15.5km、南北10.1kmあり山間部を除き、おおむね平坦で東から西へ傾斜している。
- 市農地面積は1,180ha、農用地面積は793haあるが、担い手への集積面積は31.5haと集積が低いのが課題となっている。
- 農業委員は19名、推進員は15名が活動。認定農業者は67経営体である。

①取組開始前の状況や課題

現状

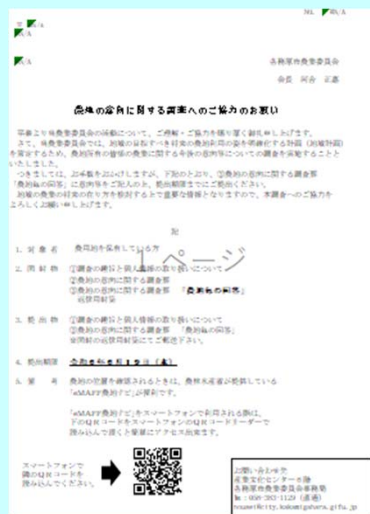
○大半が都市近郊農業による自給的農家のため、農用地における担い手集積率が約4%と集積・集約が進んでいない

課題

○地域計画話し合いの場にて、後継者不足、農機具が壊れたら廃業するという声をいくつか聞いたが、具体的にどこか明示されず集積・集約に繋げることが困難であった

⇒農地毎の詳細な意向把握が必要

調查依頼書



②取組内容

**所有者を対象とした農地意向調査の実施
(令和6年5月)**

- 農用地全てを対象に意向調査を実施
調査対象 4,006人（10,581筆）
調査方法 郵送による配布・回収
調査内容 現在の耕作状況
7年後の耕作状況 等

回収率を高めるため、調査項目は極力減らし、より詳細に知るため筆毎の回答とした

○回收状況

回收数 2,802人 (7,543筆)
回收率 69.9% (71.3%)

農地意向のシステム入力

○把握した耕作（現状維持）、貸したい
など意向を農業委員会等サポートシステム
に取込

○農地意向の色塗地図を出力できるようにし、担い手の耕作意向とのマッチングに活用

③今後の展開と方向性

地域計画への反映

○調査項目「7年後の耕作状況」にて
現状維持、拡大希望される方については
地域計画に反映（R7.3末 策定・公表）

集計データの活用

○集計したデータと担い手情報を重ねることによりどのエリアが空白地域なのか可視化することができた。
これらを新規就農希望者へのあっせん、目標地図の見直しに利用していく。

③					
■農地の意向に関する調査票 「農地毎の回答」					
※該当番号に○をつけてください。					
所在地	坐標 緯度 経度 項目	基盤図 縮尺 備考 (m)	所有者 担当者	設問01	設問02
				1. 自産、又は従業者が耕作（現状維持） 2. 自産、又は従業者が耕作（規模拡大） 3. 一時的な空地で売却しない 4. 売却したい 5. 貸し出したい	1. 5年未満 2. 5年以上10年以下 3. 10年以上20年以下 4. 20年以上
				1. 耕作が難しい 2. 水不足 3. 肥料不足 4. 労力減少など	

調査回答用紙